



KS LEONE Policy





KS LEONE POLICY

- KS LEONEとは
- KS LEONE立ち上げの理念
- KS LEONEの目指す所
 - チームの目的・目標
 - 育成の方向性
- KS LEONE コーチの心構え
- KS LEONE 指導の方向性
- 今後の運営について



KS LEONEとは

- KS LEONEのKSは、**K**odaira **S**outhern Cross の略です。
- *Southern* = サザン = 3 = 小平の南側地域
- *Cross* = クロス X = 10 = 2チームでクロス
- 後ずけのように思いますが、一応、このような意味がこもっています。
- LEONEは、ライオンですが、“**闘志を持って戦いに挑む**”という意味合いを持っています。



KS LEONE立ち上げの理念

- 背景

- 昨今の少年サッカーは、技術レベルが上がってきており、クラブチームの活躍が目立ちます。しかし、選手が選べる環境は限られており、クラブチームか地元の少年団かなどの選択肢しかありません。
- よりレベルの高い所（トレセンやジュニアユース）を目指す選手にはより良い環境を、そこまでいかなくても、でも頑張っ上手になりたい選手にも、実力に見合った環境を提供したい。我々のようなボランティアチームでも、そのような環境を用意できないか？
- そのような環境を用意するのに必要なものを我々は検討し、KS LEONEを立ち上げる事で実現できると確信し、スタートしました。



KS LEONE立ち上げの理念

- KS LEONEが理想とする環境
 - 練習場所が豊富にある
 - 会費が比較的安い
 - 関われる大人の数が多し = 選手の人数が多い
 - 豊富な経験と高い指導力を持った指導者がいる
 - 選手の指導を一所懸命にやって頂けるお父さん指導者が多くいる。
 - 運営に協力的な父兄である



KS LEONE立ち上げの理念

- 理念

- よりレベルの高い所を目指す選手も、自分の能力にあったレベルでも頑張りたい選手も、それぞれが精いっぱい頑張って努力すれば結果を出せる環境をボランティアの組織として用意し、指導に関わる大人が常に指導力を磨き、勉強し、選手の育成に貢献する。
- ボランティアの大人は、自分の出来る範囲内で最大限に努力する事を心がけ、選手達に素晴らしい環境を提供する。



KS LEONEの目指す所

- チームの目的
 - チームの理念のもと、以下を目的とする。
 - より高い技術を持った多くの選手の育成
 - 心と技と体を鍛え、人間性豊かな選手を育成
 - 皆が協力しあい、地域に貢献
- チームの目標
 - 5年以内に全国大会出場
 - 3年以内にTリーグ参戦



KS LEONE コーチの心構え

- コーチは誰でもなれる
 - コーチは、誰でもなれます。コーチやお手伝いレベルでもウェルカム
 - サッカー経験があっても無くても問題なし。
 - 皆で協力しあい、自分の出来る範囲の中で努力しましょう。
- コーチとして
 - 選手は日々努力し、学んでいます。我々コーチは？ 自分の経験だけで教えていませんか？ もちろん最初は誰もがそこからスタートです。だからこそ、勉強し、学び、コーチングスキルを向上させていきましょう。
 - 常にオープンマインドで。C級ライセンス取得講習会の冒頭で言われる事です。サッカー経験があっても指導経験があるわけではありません。オープンマインドで、より経験のある、指導力のある指導者から学びましょう。



KS LEONE 指導の方向性

- 大前提
 - サッカーと言うスポーツの楽しさを教える
- その為に
 - ◆ 個人技術を身に付ける ステップ 1
 - ① 運ぶ
 - どんな相手に対してもストレス無くボールを運ぶ技術を身に付ける。
 - ② 判断・運ぶ・蹴る
 - 顔が上がる事で、判断が出来るようになる。判断を伴い、動きながら止める、蹴るが出来るようになる
 - ③ 奪う
 - 一人で奪う、数的優位で奪う



KS LEONE 指導の方向性

◆ グループ戦術を身に付ける ステップ2

① ポゼッション

- 動く位置、体の向き、ボールをコントロールする足、タイミング。

② 守る

- グループで奪う、グループで守る

③ 崩す

- 選択肢を持った崩し、個人で突破、グループで突破

④ フィニッシュ

- 選択肢を持ったフィニッシュ、個人でシュート、グループでシュート



KS LEONE 指導の方向性

◆ チーム戦術を身に付ける ステップ3

- ① フォーメーション
- ② エリアでの戦術
- ③ コーナーキック
- ④ フリーキック



KS LEONE

- 誰もが、「そんな夢は無理」、「俺たちには出来ない」と言うけれど、やってみなければわからない。私たちが指導する選手には無限の可能性がある。だから我々はその無限の可能性を信じ、選手の夢を実現するための手助けをする。大事なのは、夢を**実現するための環境**を整え、**実現のための手段**を得て、**実現に向けた手順**を確実に進める事である。我々はすでに、夢を実現するための全てを手にいれている。
- 全ては、選手のために。

For children

For the TEAM

